

セッション 8

シャロームを回復する

社会の中で信仰によって生きる

教師用ガイド

シャロームを回復する一都市における働きの一つの枠組みとして

今週の読書課題

論文（読み物）「シャロームを回復する一都市における働きの一つの枠組みとして」の中で論じられている中心概念の多くは初代教会のとった方法やその考え方を基としています。初代教会のクリスチャンたちは、そのほとんどが都市の住人で、社会的な活動に従事しており、影響力のある人としての特徴を表していました。このような彼らのライフスタイルを通して、愛と慈善というイエス様の教義がローマ帝国に触れ、そしてローマ帝国を変革させるに至ったのでした。

この課の目的

- 1) 学習者が社会的活動に積極的に参加していくようになること
- 2) 学習者が影響力のある人の特徴を表すようになり始めること

教師のための覚え書

この課では、3つの基本的な原則について取り上げます。すなわち、社会の中で信仰によって生きるということ、開かれたネットワーク、社会的な活動の3点です。都市においてキリストを知らしめることに貢献できるミニストリーを始めて成功させるためには、これらの基本原則を理解することが、学習者にとって助けとなるでしょう。

教会は神の御国を目に見える形で具体的に表現するものです。ですから、私たちは御国の市民として社会という公共の場において信仰によって生きる必要があります。そしてそれは、正義、憐れみ、寛容といった形で現れて来なければなりません。

一社会の中で信仰によって生きることと信仰を私有化することとは、単に同じ信仰が違う形態で現れているわけではありません。それらは全く違う世界観に基づいています。この課では学習者がその違いを理解するよう助けてください。「私有化された」という言葉と「私的な」という言葉が使われていることに気づきましたか。この二つの言葉には大きな違いがあります。次ページに教師用注がありますので、その違いを説明する際の助けとしてください。「社会の中で信仰によって生きる／信仰を私有化する」の練習は、あなたのグループの人たちがどの程度その違いを理解しているか評価する際の助けとなるでしょう。

社会的なネットワークが重なり合うと、ミニストリーにおいて重要な働きをします。クリスチャンたちが（そしてクリスチャンでない人たちも）都市のために共に働くことができるからです。学習者には「ネットワーク作り」と都市をよくするために社会的ネットワークを重複させて相乗効果をもたらすよう努めることの違いを理解できるよう助けてください。

一最後に、社会的な活動に参加することの重要性に触れてください。この課では、社会の中で信仰によって生きるためには、そして効果的なミニストリーを行なうためには、いかに社会的な活動に従事することが大切であるか、学習者が理解できるよう助けてください。

参考資料

- ・ロドニー・スターク著「キリスト教の台頭 (The Rise of Christianity)」(この課の学びをリードする人には非常に推薦できる本です)
- ・オス・ギネス著「召命 (The Call)」第19章 Locked Out and Staying There

- 信仰の私有化についての論考
- ・ ジョン・ストット「宣教プラス (Evangelism Plus)」
 - 「Christianity Today」とのインタビュー

学びの構成

この課の学びには2時間半を予定してください。

30 分間

実習：「社会の中で信仰によって生きる／信仰を私有化する」についてのシナリオ分析。ディベートとディスカッション

15 分間

講義：社会の中で信仰によって生きる／信仰を私有化する

10 分間

質疑応答：講義についての実習

40 分間

ディスカッション：社会的ネットワークと社会的活動及びプロジェクトについてのディスカッション

30 分間

ディスカッション：シャロームを回復する一都市における働きの一つの枠組みとして

実習

公共の場において信仰によって生きること

指示事項：あなたのクラスの人たちを二人組のペアか小グループに分けてください。各シナリオをそれぞれ二つのグループに割り当てて、一方のグループにはそのシナリオの人物が社会の中で信仰によって生きているということを論証させ、もう一方のグループにはその人物が信仰を私有化しているということを論証させてください。もし、ディベート形式よりもディスカッション形式の方がいいと思うならば、それぞれのグループに一つのシナリオを割り当てて、そのシナリオが社会の中で信仰によって生きingことを表現しているのか、あるいは信仰を私有化していることを表現しているのか述べさせてください。それぞれ両方の立場の意見を述べさせてください。

注：この実習をした後に、まだ問題が解決されていないような感覚が残るかもしれませんが、それで大丈夫です。この実習をしている間に解答を出そうとしないでください。各グループがそれぞれの意見を述べたら、あなたの講義へと進んでください。講義後にまたシナリオに戻って、グループの人たちがより良い解答を得られるかどうか見てください。

この実習の解答例は講義ノートの後にあります。

シナリオ#1：ハンフリーは教会の長老で、日曜学校の教師を務めており、七年間「爆発的な宣教」について教えている。彼は自分の信仰について定期的に証しをして、他の人々が信仰を持つようになるのをよく見てきた。彼は、自分自身がその一部であるキリストの共同体のために、自分に与えられた賜物を使おうと決心している。彼はまた、仕事が終わった後に同僚のために結婚及び子育てのセミナーも行っている。

シナリオ#2：ユージェニアは、数年間世界自然保護基金のためのボランティア活動をしている。世界中の至るところで、絶滅の危機に瀕している生物種が悲惨な扱いを受けていることを知ってキリストへの信仰に導かれた。彼女は現在、海へと向かう船舶輸送の影響で五大湖から徐々に消えつつある淡水タコを救うための資金集めの活動に従事している。彼女は数多くの教会の友人や職場の同僚などに資金集めに協力してもらっている。ユージェニアは、私たちは皆、信仰は違っていても、自分たちの住む世界に関心を持つべきであると考えている。彼女が動物保護に献身していることは、クリスチャンの友人たちからもクリスチャンでない友人からも称賛されてはいるが、多くの疑問も投げかけられている。ユージェニアは自分の信仰について、私たちが期待するほどには言葉で表現できないでいる。けれども彼女は自分の信仰が自分に求めていることを感覚的によく理解しており、そのことについては喜んで話したいと思っている。

シナリオ#3 ヒューバートは貧しい人々の間で読み書き能力を高めようと積極的に活動している。彼はクリスチャンになって長く、教会や地域社会で奉仕している。彼はボランティア活動を喜んで行なっているが、よく考えて行動するというよりも、どちらかという直観的に行動している。ヒューバートは自分の信仰について証しすることを好まず、行動によって良き証しとなりたいと思っている。彼はいずれ誰かが自分の奉仕に気がついて尋ねる時が来るだろうと、そのことを期待もし、また恐れてもいる。

シナリオ#4 このシナリオはアメリカ人用のシナリオである。エスメラルダは地域社会において非常に積極的に活動している。彼女は共和党の支部長で、中絶と同性婚を違法にしようと懸命に努力している。彼女は自分の信仰について証しし、よく友人や同僚を日曜日に教会に招いている。彼女は自分の国が犯している罪や伝統的な家庭の価値観が否定されていることについて非常に心を痛めている。

講義

社会の中で信仰によって生きる／信仰を私有化する

公共の場において信仰によって生きるとき、その信仰は正義、憐れみ、寛容という形で現れる

社会の中で信仰によって生きるとはどのようなことでしょうか。また、公共の場であることの重要性は何でしょうか。

用語の定義：社会の中で信仰によって生きる、公共の場、信仰を私有化する

・ 社会の中で信仰によって生きるとき、その信仰は公の人々に影響を与えます。 社会の中で信仰によって生きる時、その信仰は社会の構造や慣習に関して、理想の形を提起します。また、たとえ個人的な影響について表明した場合でも、その信仰は個人的な影響にとどまることはありません。

・ 私有化された信仰の影響が及ぶ範囲は、当人や家族など私的な領域に限られます。

注：私有化された信仰は、私的な信仰と同一ではありません。主は私たち一人一人を非常に深い私的な信仰へと召されています。それは私たち自身を変革させるほどに深い個人的な信仰で、それがゆえに、私たちがその信仰を生きるに従って私たち自身が変革の媒体となるような信仰なのです。ですから、私たちの私的な信仰は公の人々に影響を与えます。その信仰は私的な信仰ですが、私有化された信仰ではありません。

・ 公共の場とは、人々が意見を述べ合い、行動を起こし、決定をする社会的な領域であって、社会の構造が形作られ、社会的な慣習が出来上がっていくところです。

背景

現在私たちが信仰として理解していることは、「個人的な敬虔」やキリストを信頼する「一人一人の決断」を重視した 19 世紀および 20 世紀の思潮によってある程度形成されました。一方、このような思潮によって、クリスチャンに与えられた命令が、すなわち、クリスチャンは広く文化に影響を与える社会的構造や慣習に関わるべきであるという命令が、軽視されるようになりました。

その結果、私たちの信仰の公の部分と私的な部分との間に溝ができてしまい、私たちの信仰や信念は私たちの私的な領域に属することがふさわしいとの考えが強くなり刻み込まれてしまいました。私有化された信仰とは、個人的に敬虔であることに満足している信仰です。私有化された信仰は、内面に向かって働き、ただ個人的な救いや道徳、家族の問題だけに関心を持つ信仰です。

信仰を私有化することの問題点

・ 信仰を私有化することの一つの問題点は、私たちの内なる人が私たちが実際に取る行動と分離してしまうことです。つまり、私たちが偽善者になってしまうことです。

・ もう一つの問題点は、ある社会評論家がキリスト教信仰について述べているように、私有化された信仰は、「個人的には素晴らしいものではあっても、社会とは切り離された信仰となってしまうこと」です。

イエス様の信仰観

イエス様は、その生涯と教えを通して、公の部分と私的な部分とが分離していませんでした。イエス様は病人をいやし、大衆に食物を与えられ、また、罪を赦し、当時の有力な宗教指導者たちを非難されました。イエス様はご自分の信じるままに行動されました。

イエス様は弟子たちに深い私的な信仰と、人を引き付けるような公の信仰を持つようにと召されました。イエス様は豊かなのちを提供されましたが、それは、自分だけが達成すればいいとするものではありませんでした。イエス様は私たちに塩であり、光であるようにと召されているのです。

ジョン・ストットは、『クリスティアニティ・トゥデイ』誌とのインタビューにおいて、マタイの福音書 5 章のイエス様の教えについて、次のように述べています。

社会の変革に関してですが、マタイの福音書 5 章の山上の垂訓の場面でイエス様が私たちのあるべき姿として選ばれた、塩と光のたとえについて、私は随分と考えてきました。「あなたがたは地の塩です。あなたがたは、世界の光です」。このたとえが語られたのは、少なくとも 3 つのことを意味するためであったと私は思います。

一つ目は、クリスチャンはクリスチャンでない人々とは、徹底的に異なっているということです。異なっていないならば、異なっているべきです。イエス様は 2 つの共同体を対峙させました。一方には世があって、もう一方にはあなたがいる、すなわち暗闇の世界の光であるあなたがいるのです。イエス様が言わんとされていることは、光が闇とは異なるように、また、塩が腐食とは異なるように、私たちはそれほど異なった存在であるということなのです。

二つ目は、クリスチャンはクリスチャンでない世界に浸透していかなければならないということです。塩が塩の容器の中にとどまっているならば、何の役にもたちません。光はベッドやバケツの下に隠していたら、何の役にもたちません。光は闇の中に浸透していかなければなりません。つまり、この二つのたとえは、私たちは単に異なった存在であるにとどまらず、社会に浸透していかなければならないということの意味しているのです。

三つ目は、意見の分かれる考え方ですが、塩と光のたとえはクリスチャンはクリスチャンでない社会を変えることができる考えるものです。このたとえは、そのことを意味しているに違いありません。なぜなら、塩も光も非常に効力のあるものだからです。塩も光も置かれた環境を変えてしまいます。塩は細菌による腐食を防ぎますし、光は闇を払いのけてしまいます。これは何も、社会的福音を復活させるものではありません。私たちは社会を完璧なものにすることはできません。けれども、社会を改善することはできるのです。

信仰についての正しい捉え方

・イエス様の生涯とその教えから、私たちは信仰についての正しい捉え方を次のように結論づけることが出来るでしょう。すなわち信仰とは、ただ単に社会で生きる信仰こそが信仰であるとか、いや、信仰とは私的なものであるとか、そのように考えるべきものではなく、むしろ、イエス様が私たちに求められている信仰とは、深いレベルで私的であり、かつ、私たちを社会的な活動へと導く信仰であるということです。イエス様の主権は、私たちの人生のすべて、また、世界のすべて、そして、公の部分、私的な部分すべてに及んでいるのです。

・問題は、私たちは何をすべきかではなく、私たちは自分の信仰をいかに文化的に適切な方法で生きるかということです。私たちはどのようにして自分の私的な信仰に基づいて意見を形成し、社会生活を営み、社会制度を作り上げていくべきなのでしょう。

初代教会

初代教会のクリスチャンについて考える時に思われるのは、彼らは社会の問題に取り組みずにはおら

れないような強い信仰を持っていたということです。彼らは社会のあらゆる領域でシャロームを回復することに熱心に取り組み、また、あらゆる個人的、文化的、社会的病に対して福音による解決をもたらそうと努めていました。

社会の中で信仰によって生きるための要件

・社会の中で信仰によって生きるために不可欠なことは、人生のすべてを福音に結びつけて考える世界観を持つことです。福音が「罪の管理」や道徳上の指導以上のことに関わる必要があります。どのように建物を建てるのか、何故歯を磨くのかなどについても福音が関係しなくてはなりません。福音の意味や目的とかかわりのないことなど、何もありません。原状、現状、可能性、将来という御国のストーリーを使うことによって、人生のあらゆることを福音に結びつけて考えることが出来るでしょう。

・第二に、社会の中で信仰によって生きるためには、自分が確信していることをより広範囲の人々に対してはっきり表現できなければなりません。必ずしも罪や救いの話から会話を始めるべきではないかもしれせん。

社会の中で信仰によって生きる上で敵となるもの

・私たちの信仰が社会のあらゆる面において統治する力となるべきであるという考え方は、かえって信仰を公共の場から締め出してしまう、政治的な権力争いに巻き込んでしまいます。そして、結果的に社会の多くの層の人々を信仰から遠ざけてしまいます。

・キリストの主権の及ぶ範囲は、個人の私的な領域だけで十分であるとする考え方は、信仰を私有化してしまいます。

・(往々にして、クリスチャンでない人たちとは関係を持ちたくないという気持ちが原因となって)クリスチャン同士で集まって、自分たちの必要を満たし合ったり意見や感情を表現し合うための「クリスチャン居住区」を作る傾向があります。

実習—続き

公共の場において信仰によって生きる

「社会の中で信仰によって生きる／信仰を私有化する」の3つあるいは4つのシナリオに戻ってください。それらのシナリオに関する各自の意見について、何か付け足したいこと、取り消したいこと、変更したいことがあるでしょうか。この実習はディベート形式ではなく、グループディスカッション形式で行なってください。

シナリオ#1：ハンフリーは教会の長老で、日曜学校の教師を務めており、七年間「爆発的な宣教」について教えている。彼は自分の信仰について定期的に証しをして、他の人々が信仰を持つようになるのをよく見てきた。彼は、自分自身がその一部であるキリストの共同体のために、自分に与えられた賜物を使おうと決心している。彼はまた、仕事が終わった後に同僚のために結婚及び子育てのセミナーも行っている。

解答例：ハンフリーは非常に活動的な信仰を持っている。しかしながら、それは主として彼のプライベートな生活や教会という共同体に関係するにとどまっている。彼は家庭に関する問題について同僚と話し合う努力はしている。家庭はプライベートな領域に属しているが、福音を実際的な問題に関係づけようと彼が努力していることに勇気づけられる。私はハンフリーが教会の中だけではなく、もっと広く人々

のために彼の賜物を使ってほしいと思う。

シナリオ#2：ユージェニアは、数年間世界自然保護基金のためのボランティア活動をしている。世界中の至るところで、絶滅の危機に瀕している生物種が悲惨な扱いを受けていることを知ってキリストへの信仰に導かれた。彼女は現在、海へと向かう船舶輸送の影響で五大湖から徐々に消えつつある淡水タコを救うための資金集めの活動に従事している。彼女は数多くの教会の友人や職場の同僚などに資金集めに協力してもらっている。ユージェニアは、私たちは皆、信仰は違っていても、自分たちの住む世界に関心を持つべきであると考えている。彼女が動物保護に献身していることは、クリスチャンの友人たちからもクリスチャンでない友人からも称賛されてはいるが、多くの疑問も投げかけられている。ユージェニアは自分の信仰について、私たちが期待するほどには言葉で表現できないでいる。けれども彼女は自分の信仰が自分に求めていることを感覚的によく理解しており、そのことについては喜んで話したいと思っている。

解答例：私はユージェニアが自分の信仰を被造物の世話に結びつけていることはいいと思う。絶滅の危機にある生物種のことは間違いなく公共の領域に属する。私は彼女が自分の信仰について御国のストーリーと関連させて説明できるようになることを願う。

シナリオ#3 ヒューバートは貧しい人々の間で読み書き能力を高めようと積極的に活動している。彼はクリスチャンになって長く、教会や地域社会で奉仕している。彼はボランティア活動を喜んで行っているが、よく考えて行動するというよりも、どちらかという直観的に行動している。ヒューバートは自分の信仰について証しすることを好まず、行動によって良き証しになりたいと思っている。彼はいずれ誰かが自分の奉仕に気がついて尋ねる時が来るだろうと、そのことを期待もし、また恐れてもいる。

解答例：ヒューバートの奉仕活動はいいと思う。けれども、自分のしていることについてキリストの贖いと関連させて語るができないならば、彼は自分の信仰を隠していることになる。

シナリオ#4 このシナリオはアメリカ人用のシナリオである。エスメラルダは地域社会において非常に積極的に活動している。彼女は共和党の支部長で、中絶と同性婚を違法にしようと懸命に努力している。彼女は自分の信仰について証しし、よく友人や同僚を日曜日に教会に招いている。彼女は自分の国が犯している罪や伝統的な家庭の価値観が否定されていることについて非常に心を痛めている。

解答例：エスメラルダが社会の中で信仰によって生きているのか、あるいは、自分の信仰を政治化しているのかの判断は難しい。

ディスカッション

ネットワーク作りと社会的な活動

重なり合うネットワーク

人々の中に入り込もう（ネットワーク）のプロジェクトに関して、以下の点について話し合ってください。そして、プロジェクトに関してそれぞれの意見を発表させてください。

・社会のネットワークが重なり合う時、ミニストリーに重要な役割を果たします。クリスチャンたちが共に都市のために働くことが出来るからです。「ネットワーク作り」と都市のためにネットワークが重なって相乗効果が現れるように働くこととどのように異なるでしょうか、その違いについて話し合ってください。

・「シャロームを回復する」の中で提示されているネットワークの概念について話し合ってください。それは私たちの都市における働きとミニストリーにどのような関係があるでしょうか。

・「キリスト教の台頭」の中でロドニー・スタークは次のように述べています、「ほとんどの新宗教のムーブメントは、すぐに閉ざされた、あるいは半分閉ざされたネットワークとなってしまう成功しないのである。外部の人たちとの関係を築き、保ち続けることに失敗するため、成長する能力を失うのである、成功するムーブメントでは、開かれたネットワークであり続ける方法が見出され、自分たちの身近にある新しい社会的なネットワークに関わり、入り込んでいくことができる。それゆえ、長期間にわたって指数関数的な成長を保つムーブメントとなるのである。」

社会的な活動

人々の中に入り込もう（ネットワーク）のプロジェクトに関して、以下の点について話し合ってください。そして、プロジェクトに関してそれぞれの意見を発表させてください。

最も活発に都市のためになる働きをしているのはどのネットワークでしょうか。

「都市のためになる」という点に関して、どのネットワークが最も影響力があるでしょうか。

ディスカッション

シャロームを回復する一都市における働きの一つの枠組みとして

このディスカッションの目的は 2 つあります。まず、グループの一人一人に、意見を述べたり質問をしたりする時間を与えてください。第二に、論文の中で提示されている枠組みを頭に入れつつ、自分の住む都市について話し合いを始めてください。また、私たちが住んでいる都市に関してどのようなアプローチの仕方をすればいいか、この論文に基づいて、この質問に答えてください。枠組みには以下のものが含まれています。

誰が—影響力のある人、**どのような方法で**—社会的な活動と開かれたネットワーク、**何故**—イエスのシャロームを回復する

1. ロドニー・スターク「キリスト教の台頭（The Rise of Christianity）」HarperSanFrancisco, San Francisco, CA, 20 頁